



むなかた市議会だより

平成25年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報調査特別委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ＝http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php
●メール＝gikai@city.munakata.fukuoka.jp

児童保育所、ふれあいの森総合公園など

指定管理者決定

9月定例会に、平成26年4月からの指定管理者を指定する6議案が提案されました。
議会は、所管する委員会で慎重に審査し、本会議最終日にすべての議案を可決しました。

**児童保育所(南エリア・北エリア)は、
テノ、コーポレーションに
賛成多数で可決**

南北2つのエリアに分けて公募され、北エリアは3者、南エリアは2者の応募がありました。いずれも現在の指定管理者である株式会社テノ、コーポレーションが提案されました。

議会で主な意見

最終日の本会議では7人の議員が約1時間にわたる討論を行い、採決の結果、両エリアとも賛成多数で可決しました。

《反対意見》

社会常任委員会
北エリア反対4賛成2
賛成少数で否決
南エリア反対3賛成3
委員長裁決で可決

指定管理者制度は、経営的視点で重視され、児童保育の内容や質の評価が反映されにくく、児童保育事業にはなじまない。評価基準の中に子ども視点がない。
第2期指定管理期間に起きた運営管理者の一時不在の問題など運営実績が報告されておらず、選定委員会への情報十分ではない。
南北エリアを同一業者が受けることは、切磋琢磨によるサービス向上が磨ける。サードサービス向上が磨ける。



児童保育の様子

ふれあいの森総合公園は 宗像緑地建設に 賛成多数で可決

2者の応募があり、現在の指定管理者である宗像緑地建設株式会社が提案されました。

建設産業常任委員会
反対4賛成1
賛成少数で否決

委員会では、選定方法や現在の運営体制などに質疑が集中し、否決しましたが、最終日の本会議では、賛成多数で可決しました。

議会で主な意見

《反対意見》
現在の指定管理期間中に指定管理者の代表者が途中で代わったことは、安易に認めるべきではない。

《賛成意見》
第2期当初は課題があったが、現在は改善されており、十分にその役割を果たしている。
両エリアの指定管理者を無理に別の業者にした場合、平等に保育を受ける機会を逸し、保育の質の低下を招くことになる。
現在の利用者から現状の改善を求める声は少数である。

大島へき地保育所は紅葉会に 賛成多数で可決

応募は1者で、現在の指定管理者である社会福祉法人紅葉会が提案されました。議会で運営安

定化のため直営にすべきとの反対意見もありましたが、賛成多数で可決しました。



ふれあいの森総合公園

平成24年度決算を認定

一般会計決算額

収入 339億9000万円
支出 333億9721万円

議会は2つの特別委員会、一般会計のほか、特別会計・企業会計合わせて9会計の決算について長時間かけて審査し、すべての決算を認定しました。

平成25年度補正予算

一般会計決算
(賛成多数で認定)

24年度決算額確定による繰越金や交付税の補正、職員給与の削減による人件費の減額などが補正予算の主な内容です。

一般会計歳出では、大島の動物ふれあいゾーン設置、風しん予防接種の一部補助開始、中学校の防球ネット設置、海洋性スポーツ拠点施設整備の用地購入費などで総額約1億6千万円増額しています。

これに対し、議会からは職員給与削減に反対する意見や、大島の動物ふれあい施設、海洋性スポーツ施設の整備については事業効果に疑問があり、実施にあたっては内容の検討を要望する意見が出され、賛成多数で可決しました。

請願

新総合体育館建設を含めたスポーツ施設の再構築と整備及び健康スポーツ都市宣言を求める請願
【賛成多数で採択】

(請願者)

宗像市体育協会会長 山田勝智さん

(要旨)

市民ニーズに応えた将来を見据えたスポーツ活動の受け皿となる①新総合

(審査内容)

社会常任委員会の審査で、請願内容は体育施設全体のあり方を総合的に検討することを求めているものであること、また現在市では、スポーツ施

設のあり方に関する検討会議を設置していることが明らかになりました。

議会では、3万7086筆を集めた署名のときの文書と請願とで文言が変わっており、請願の趣旨が明確でないとの反対意見もありましたが、スポーツが、まちづくりや健康施策の推進に寄与するなどの賛成意見もあり、賛成多数で採択しました。

新規 児童保育所(吉武)は コミュニティ運営協議会に 賛成多数で可決

地域の子どもは地域で育てたいという吉武地区

コミュニティ運営協議会からの提案を受け、地域

コミュニティ運営のモデル事業として、平成26年度からの2年間、同協議会を吉武小学校児童保育所の指定管理者とすることに決定しました。

指定管理者制度

市が指定する民間事業者など幅広い団体(指定管理者)に、公の施設の管理運営を委ねる制度。その指定には議会の議決が必要となる。

宗像市では、第三者で構成する指定管理者選定委員会(選定委員会)での審査を経て、指定管理者指定の議案が提案されている。

一般質問

9月4日から6日の3日間にわたって、17人の議員が市の方針や行政事務について、合計33項目の質問を行いました。
○議員が質問を届け出た順に掲載しています
○掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています
○質問の詳細については、録画映像もしくは11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください

市政公約「マニフェスト」は実現されているか

宗政会／岩木 久明

問 第二次行政改革大綱に基づく行政改革を推進し、削減額が30億円とあるが実現できたのか。
答 24年度末で効果額は25億9600万円。毎年度目標を上回る額を削減している。
問 どの局面で地域人材を活用し組織力を上げたか。
答 専門性の高い業務や職員の代替として活躍してもらっている。
問 地域にお金を産み出す仕組みづくりのためのトップセールスの成果は。
答 メディアなどを活用し、トップセールスに取



世代間で支え合う市営住宅の提案

宗像志政クラブ／伊達 正信

問 多世代が一つの小規模集落を形成し、互いの利点を発揮しながら子どもたちには、豊かな心を育み、若者には、就業の場を、そして高齢者は生きがいを感じながら、健康寿命が延びる、そういう新しい集合体の市営住宅を建設できないか。
答 市営住宅は、住宅を必要とする低所得者に対して整備し、生活の安定と社会福祉の増進を目的とするため、議員提案のような目的での住宅の整備はしていないが、今後の研究課題としたい。
紙おむつのリサイクルについて
問 福岡都市圏紙おむつリサイクルシステム検討委員会への本市の対応は。
答 本市を含む県下17の自治体に参加している。検討委員会への参加を継続しながら、広域での紙おむつリサイクル事業を推進していきたい。



安心して暮らせる高齢社会に

ふくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

問 要介護認定のない人へのホームヘルパー派遣事業は、自立した生活の継続につながる。早めの利用を勧めては。日中独居の人も対象にしては。
答 早めの利用を勧めていくために派遣の制度についてのPR、周知に努める。日中独居の人を対象にするかは慎重に対応したい。
問 空家を借り、民間団体などの協働で、食事のできる高齢者の居場所を運営してはどうか。
答 現在、コミュニティや自治会とで、高齢者の居場所づくりに取り組んでいる。食事の提供も含めて今後、研究したい。
問 元気な高齢者で高齢者の役に立ちたいと言われる人には、接し方の留意点など学んでいただいた上で、日常生活の支援などをしていたい。
答 ボランティアに必要なことを学んでいただけるよう支援する。



観光客700万人突破を目指せ

宗像志政クラブ／神谷 建一

問 東部観光拠点施設に隣接する唐津街道赤間宿の町並みを保存するため、原町と同様の町並み整備が行えないか。
答 赤間地区で景観協定を定めたうえで、地域が考える修景などを市長が認定する制度があるのので、景観整備の中で生かすことも考えられる。
問 観光拠点から釣川沿いに遊歩道や自転車道を整備してはどうか。
答 市と県との役割分担を行い、今から計画を作ってサイクリングロードを整備する。
問 正助ふるさと村に大型観光バス駐車場整備の検討はできないか。
答 大型観光バスが転回できる駐車場や道路の拡幅を検討する。
問 観光戦略の一つとして、出光佐三氏の映画化実現に向け市長の考えは。
答 現在映画化を仕掛けている。今後も積極的に売り込んでいく。



高齢者の交通事故防止対策に助成を

とびうおクラブ／安部 芳英

問 新たな自動車運転事故防止対策として、アクセルとブレーキの踏み間違え事故を防止する安全装置取り付け費用の一部助成をしてはどうか。
答 特に高齢者の事故を減少させることは大きな課題として認識しているが、議員提案の安全対策は基本的に自己の判断と責任で行うべきものと考える。関係機関と連携して広報啓発をいっそう強化する。
市の魅力発信の具体策
問 ビールバレルの利用。オリジナルTシャツ販売。職員や議員を宣伝部長に任命。広報・文学大賞創設。学生アイデアコンテスト創設を提案する。
答 都市間競争の中で市の魅力発信は重要。議員提案の具体策は、観光イベントや施策の周知など各分野で最適な方法を検討する際の参考にする。
その他の質問
広告収入倍増化策の提案



安全装置の例

特別ではない特別支援教育を

ふくおか市民政治ネットワーク／高原 由香

問 就学相談は、どのような観点で行われているか。判定後の保護者への対応は。
答 本人に最適な教育を行うという視点に立ち、総合的な観点から就学先を判断。判定後は保護者と学校、関係機関が連携し、情報提供、教育相談に努めている。
問 特別支援学級の支援体制とは。
答 ニーズに応じた教育課程を柔軟に編成し、運用することが可能になる。
問 中学校の支援における課題の把握および改善点への考えは。
答 担当教員が進路情報を集め、保護者や本人が進路について選択、決断しやすくなるように支援している。小中一貫教育を軸とした連携体制を整え、効果的な支援の継続を図っている。
その他の質問
英語教育を充実させるために



ユリックス駐車場の改善を求める

日本共産党／新留 久味子

問 ユリックス多目的広場の臨時駐車場から出庫する際、頻繁に渋滞する。道路を拡幅し改善できないか。
答 道路を拡張するには警察協議が伴うが、改善する方向で検討する。渋滞緩和策として左折優先で駐車場から出すなどユリックスと協議する。
障がい児保育事業費補助金の増額を求める
問 現行の補助金は、保育士人件費の半額程度。障がい児保育充実のため補助金の増額ができないか。
答 障がいのある子どもに適切な支援を行うためには、児童1人に対し保育士1人の配置が望ましい。補助金については、保育所だけでなく幼稚園も含めて、必要な人件費の確保を想定し、増額の方で検討している。
その他の質問
生活保護世帯へのクーラー設置補助制度の検討を



市北部地区の活性化に向けて

とびうおクラブ／北崎 正則

問 道の駅むなかたの成果は。
答 年間160万人の来場者、16億円を超える売り上げがあり、市の産業振興、観光集客に大きく貢献している。
問 道の駅の駐車場対策や渋滞緩和の方策は。
答 駐車場は当初より増やしている。
問 周辺店舗のPRを実施、また、店舗誘導の調査、検討を行う。
答 観光漁業の取り組みは。民宿を活用した漁業体験を行っている。今後関係機関と協議し、より効果的な取り組みを実施したい。
その他の質問
宗像の教育について



道の駅むなかた

防災・危機管理に強い宗像市を

とびうおクラブ／森田 卓也

問 本市に想定される災害の種類とその規模は。

答 大雨による浸水、土砂災害が発生する可能性が最も高い。鈎川流域の24時間総雨量245ミリで堤防決壊が発生し、最大5メートルの浸水を予想。土砂災害警戒区域は市内で355カ所。そのうち住民に大きな被害が生じる恐れのある土砂災害特別警戒区域は329カ所。旧玄海町の区域指定などにより、箇所数は増える可能性がある。

問 災害時要援護者を安全に救出できるよう名簿の整理を進めるべきと考



市総合防災訓練

行財政改革の進捗よく状況について

市民連合／福田 昭彦

問 市は合併後の新しいまちづくりを推進するため、16年に「宗像市行財政改革大綱」を策定し、その具体的な実行内容を「行財政アクションプラン」としてまとめ、歳出削減などによる財政基盤の強化、機構や人事管理の見直しによる効果的・効率的な行政経営、市民参画協働の推進に取り組んでいるが、その成果と進捗よく状況は。



答 22年から5年間の行財政計画改革プランを実行中で、目標金額を上回る成果を上げている。職員の資質、能力の向

上については、人材育成、人事異動、人事考課、研修などを効果的に連携させ、職員の質の向上に努めている。また、効率的、わかりやすい組織機構の実現に向けて、21年度以降、毎年組織機構の見直しを行っている。

耕作放棄地対策について

宗像志政クラブ／花田 鷹人

問 耕作放棄地解消に向けての施策は。

答 農地の所有者などに改善指導を行っている。また耕作再開に向け、伐採などの再整備が必要な場合は、補助事業などを活用して支援している。



問 新たに検討している耕作放棄地防止策は。

答 離農者などの農地を新しい担い手にスムーズに引き継ぐことにより、耕作放棄地の発生を防止する「人・農地プラン」の作成を進めている。

問 農業6次産業化拡大に向けての課題と対策は。

答 農業者の高齢化が進んでおり、経営を拡大する余力がある農家が少ない。今年度からスタートした新規就農研修で、次世代の若手農業者を中心に6次産業化への意識の向上を図る。

その他の質問

問 ICTの新しいツールを市民サービス向上に活用できないか

バイオマス計画に市内の資源の活用を

日本共産党／植木 隆信

植物からの生物資源（バイオマス）を使い、発電や堆肥を生産する環境・循環型社会への活用が期待されている。

問 バイオマス計画に、事業所からの残渣（残りかす）や畜産廃棄物などを市内から出る有効資源の活用を。

答 バイオマスの原資として下水汚泥、し尿汚泥、せん定枝・草を想定しているが、ほかに活用できる原資はあると考える。事業所からの生ごみなども将来的には活用できる



問 洋式・多目的トイレの未設置の改善を。

答 未設置の施設については、建物の改修工事などの際に順次整備する。小・中学校に計画的にエレベーター設置を。整備計画はある。必要に応じて優先的な整備を進めていきたい。

漁業関係者への支援を

宗政会／石松 和敏

問 燃油価格高騰にあえぐ漁業関係者に対し、他市の事例を参考に財政支援を検討できないか。

答 個人補助的なものではなく、漁業関係者に対する燃油仕入れなどに対する補助ができないか、前向きに漁協と検討したい。



福岡県栽培漁業センター（鐘崎）

問 漁獲量の減少と魚価の低迷で経営は大変厳しい状況のため、漁港整備における地元漁協の負担金を軽減できないか。

答 現在、漁協合併の協議を進めており経営改善計画についても検討中。

問 漁業の安定経営のために養殖または蓄養のための施設整備が必要と考えるが基本的な考えは。

答 燃油高騰と資源の枯渇などで、漁業経営が難しい中、これからは「育てる漁業」に積極的な力を入れていきたい。

その他の質問

問 持続可能な自治体経営を

UR日の里団地整備への対策は

宗像志政クラブ／吉田 剛

問 UR（都市再生機構）が19年に再生再編方針を定めた後、具体的な計画がないが、今後の対策は。

答 今年5月に庁内プロジェクトチームを立ち上げ、県とUR、当市で構成する連絡会議を設置し、再生再編事業の研究に着手している。

パッケージ化などの体制づくりを支援していく。



地引網体験の様子

観光漁業促進の考えは

問 先日鐘崎にて地引網の旅行企画を実施し、地引網は文化であると実感した。支援の考えは。

答 地元を巻き込んだ体験事業の運営の強化、

ラグビーW杯 キャンプ地誘致を

問 誘致のための組織をつくる考えは。

答 グローバルリーナと協議しながら、市民参加の誘致組織を立ち上げ、市を挙げての誘致活動を展開していく。

市民が活用できる産後ケアの取り組みを

宗政会／岡本 陽子

問 これまでの産後ケア事業の効果と課題は。

答 体を休めることができた、育児不安が解消されたなどのアンケートの回答が寄せられており、事業効果があったと考えている。また利用状況から情報提供の不足が課題であったと捉えている。

問 産後ケア事業が行える場所の拡大は。

答 産後子育てヘルパーホームヘルパー導入について検討する意向は。

問 既に新生児訪問などのサービスがあるので、ヘルパーを派遣するシステムは現在考えていない。

その他の質問

問 離島の高齢者対策、巡回診療の取り組みや現医療の職員教育体制は



持続可能な宗像市であれ

宗像志政クラブ／小島 輝枝

問 真冬日の減少、集中豪雨の多発など、気候変動は年々深刻化し、地球温暖化は世界的規模で危機感を募らせている。本市でも社会経済発展と環境保全を両立する「持続可能なまちづくり」を推進すべきである。

問 エネファーム（家庭用燃料電池）の設置費補助制度を設けてはどうか。

答 補助制度を実施している近隣市でも申請件数は極端に少ない。現時点では、個人向けの二酸化炭素削減のための設備としては、太陽光発電に関する設置費助成以外は考

問 エネファーム（家庭用燃料電池）の設置費補助制度を設けてはどうか。

答 補助制度を実施している近隣市でも申請件数は極端に少ない。現時点では、個人向けの二酸化炭素削減のための設備としては、太陽光発電に関する設置費助成以外は考



団地再生事業に向けた取り組みを

日本共産党／末吉 孝

問 最低敷地面積基準の緩和はその後どうなっているのか。

答 県と協議しているが同意が得られない。



問 最低敷地面積基準の緩和はその後どうなっているのか。

答 県と協議しているが同意が得られない。

問 定住支援策の実績は。家賃補助制度228件、中古住宅リフォーム補助制度63件、古家解体補助制度8件、531人が市外からの転入者。

問 団地再生のためのセミナー、シンポジウムを開催してはどうか。

答 地元協議の中で、開催時期を検討する。

市道の路側帯の 草刈りについて

問 通学路など安全対策からも草刈りは重要ではないか。

答 地域からの改善提案でも取り上げている課題だと認識している。

〇〇〇 提出議案と議決結果 〇〇〇

9月定例会では、市長提案の36議案、請願1件、議員提案の意見書2件を審議しました。
全員賛成で可決、認定した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページをご覧ください。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案名	内 容
宗像市赤間駅自転車等駐車場及び自動車駐車場の指定管理者の指定	赤間駅（南口・北口）の自転車駐車場および自動車駐車場の指定管理者に公益社団法人宗像市シルバー人材センターを指定する。指定の期間は、平成26年4月1日から平成30年3月31日までの4年間。
宗像市コミュニティ・センター条例の一部改正	自由ヶ丘地区コミュニティ・センターの建て替えに伴い、平成26年4月1日から適用する会議室などの貸出施設の利用料金を定める。
宗像市漁港管理条例の一部改正	新設された神湊漁港新港駐車場の使用料を規定する。1台1回につき、利用時間が12時間までは日額200円、利用時間が12時間を超え、24時間までを日額400円とする。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	岩木久明	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝	花田利和
新総合体育館建設を含めたスポーツ施設の再構築と整備及び「健康スポーツ都市宣言」を求める請願	採択	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宗像市立大島へき地保育所の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆	○
宗像市学童保育所（北エリア）の指定管理者の指定	可決	○	○	◆	◆	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆	◆	○
宗像市学童保育所（南エリア）の指定管理者の指定	可決	○	○	◆	◆	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆	○
ふれあいの森総合公園の指定管理者の指定	可決	○	◆	○	○	○	◆	○	○	◆	○	◆	○	◆	◆	○	○	◆	◆	○
平成24年度宗像市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆	○
平成24年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	◆	○
平成24年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆	○
平成24年度宗像市下水道事業会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆	○
平成25年度宗像市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆	○

* 吉田益美議長は、議員として議決に加わる権利を有しません。

いきいき出前コンサート
in 議場

9月定例会初日に、九州管楽合奏団が議場でコンサートを開催しました。メンバーによるパーカッションアンサンブル（打楽器合奏）の後は、議員や子どもも演奏に参加し、心地よいリズムに魅了されたひとときでした。



議員席で鑑賞する市民の皆さん

▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載し、市役所でも配布します。
▼請願の提出締切日は11月22日（金）です。
▼予算第1特別委員会是一般会計を、予算第2

▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載し、市役所でも配布します。
▼特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。
▼本会議と委員会は、市内の公共施設や市ホームページで中継しています。また録画映像も公開しています。

19	16	12	11	10	9	6	5	4	12/3	11/29	日程
木	月	木	水	火	月	金	木	水	火	金	内容
本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）	委員会予備日	予算第2特別委員会	予算第1特別委員会	建設産業常任委員会	社会常任委員会	総務常任委員会	（本会議） （一般質問、大綱質疑）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（議案上程、提案理由の説明）	

（要旨）
日本の教育予算は、GDPに占める教育費の割合が、OECD加盟国の中で最下位である。そこで国に対し、2014年度政府予算編成において①OECD諸国並みの教

意見書
2件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。
少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

（要旨）
地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加などにより、厳しい状況が続いている。基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、

意見書
地方税財源の充実確保を求める意見書
育環境を整備するため、35人以下の少人数学級を推進すること②教育の機会均等と水準の維持向上のために、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを要望する。

編集
後記
2020年のオリンピック開催地に東京が選ばれた。日本中が歓喜に沸いたが、中でも多くの人の心をつかんだのは、オール日本で挑んだ最終プレゼンでの「おもてなし」。そこに「心」が加わると、信頼や信用、安心感が生まれるそうだと。
市議会も市民の皆様にとってそんな存在でありたいと、秋の夜長にふと思った。
（森田卓也）

市議会データ
これって何の数字？ 123人

1年間の視察人数です

平成24年度は全国から18議会、123人が宗像市を視察しました。

視察の内容は、市が先進的に取り組んでいるコミュニティ施策や小中一貫教育のほか、最近では議会に関する視察も増えています。
宗像市議会は、全国に先駆けて議会基本条例を制定し、インターネットによる委員会中継を行うなど、他の議会からの関心も高いようです。

委員会
レポート
宗像市議会には3つの常任委員会があり、それぞれ担当する事務について閉会中も調査しています。9月定例会で2つの常任委員会から調査結果の報告がありました。

	総務常任委員会	社会常任委員会
テーマ	第2次宗像市総合計画の策定について	塵芥収集運搬業務について
市への提言	計画期間の変更、計画立案作業の効率化のための策定方法や手順の見直しなどを提言。	高齢者の意見を反映し、実態に即したきめ細やかな施策を講じること、収集運搬にかかる業務委託契約の内容についてなどを要望。

市議会に関する問い合わせは
議会事務局 Tel 0940(36)1119

市議会のくわしい情報はホームページをご覧ください。

宗像市議会

検索